

# 開明伸銅株式会社

## 2022年度 環境経営レポート

(対象期間：2022年5月～2023年4月)



作成日 : 2023年8月31日

発行責任者：管理本部総務課 上道 朱美

# 目 次

環境経営方針	1頁
組織の概要	2頁
認証・登録の対象組織・活動	2頁
主な環境負荷の実績（全社合計）	2頁
EA-21推進組織図	3頁
環境経営目標及びその実績：本社工場	4頁
環境経営目標及びその実績：東京営業所	5頁
環境経営目標及びその実績：大阪営業所	6頁
基準年度と今年度実績：全社合計分	7頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：本社	8頁～11頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：東京	12頁～13頁
環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容：大阪	14頁～15頁
環境活動や地域社会への活動紹介	16頁
SDGs 宣言書	17頁
環境関連法規等の順守状況と違反、指摘の有無	18頁
代表者による全体の評価と見直し・指示	19頁

## 基本理念

当社は「非鉄金属技術提案業」として環境問題に積極的に取り組みます。京都に生まれ、京都で育った企業として環境問題に取り組み、地域社会との共存共栄を図り、資源の再利用、有効利用を通して国際社会に貢献し、地球環境の保全に努めます。

## 環境方針

当社は関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関、団体・地域等の要請に協力し、事業活動における地球環境の保全に関する方針を以下の通り定めます。

1. 非鉄金属加工に関する事業において環境に与える影響を削減する為に次の事項について優先的に取り組みます。
  - (1) 生産工程における廃棄物の削減に努めます。
  - (2) 社内での歩留向上や働き方改善に取り組み、電気使用量・化石燃料使用量の削減に努めます。  
(2030年CO<sub>2</sub>削減目標→2013年度比38%削減)
  - (3) 化学薬品管理体制を構築し、削減に努めます。
  - (4) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
  - (5) 資源の再利用を推進すると共に、環境製品開発・販売を積極的に推進します。
  - (6) 環境保全の意識向上の為に、教育啓蒙活動に努めます。
  - (7) 加工品事業に取り組み、運賃削減を通じた化石燃料使用量を削減します。
2. SDGsへの取り組み  
SDGsの行動目標を宣言し、持続可能な環境社会に向けた取り組みを行います。
2. 環境経営マネジメントシステムの確立と継続的改善  
この環境経営方針に基づいた環境経営マネジメントシステムを確立し、その継続的改善に努めます。
3. 環境経営方針の周知・徹底  
この環境経営方針を全ての全社員に周知徹底すると共に、当社ホームページ及び文章等を以って一般に開示します。



制定：2014年7月31日

改定：2022年9月 1日

開明伸銅株式会社  
代表取締役 **岡村 圭一郎**



## 【組織の概要】

- (1) 名称及び代表者名  
開明伸銅株式会社  
代表取締役 岡村 圭一郎
- (2) 所在地  
本社：京都府亀岡市大井町並河3丁目10番1号  
東京営業所：東京都台東区西浅草2丁目1番3号 開洋ビル  
大阪営業所：大阪市淀川区西中島3-21-13 新大阪日新ビル10F
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者：管理本部 本部長 岩岡 伸一 TEL：0771-23-6111  
担当者：管理本部総務課課長 上道 朱美 FAX：0771-23-8811  
E-mail：kanri@kaimeishindo.com
- (4) 事業内容  
伸銅品・アルミニウム型材の製造・販売
- (5) 事業の規模（2022年度実績）  
主要製品生産量 5,868 t  
売上高 5,110 百万円  
従業員 125 名  
床面積 28,451 m<sup>2</sup>（本社 28,270m<sup>2</sup>、大阪 129.09m<sup>2</sup>、東京 52.1m<sup>2</sup>）
- (6) 事業年度 5月～4月

## 【認証・登録の対象組織・活動】

登録事業者名：開明伸銅株式会社  
対象事業所：全事業所（本社工場・大阪営業所・東京営業所）  
活動：伸銅品・アルミニウム型材の製造・販売

## 【主な環境負荷の実績（全社合計）】

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	2,458,545	2,910,919	2,795,171
廃棄物排出量	kg	279,067	260,055	230,400
（一般廃棄物排出量）	kg	14,706	16,670	17,840
（産業廃棄物排出量）	kg	264,361	243,385	236,654
水使用量	m <sup>3</sup>	5,220	5,309	4,178

※電力の二酸化炭素排出量換算値（全社） 0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWh（関西電力2019年度調整後排出係数）

# 開明伸銅株式会社 EA-21 推進組織図

代表者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営方針の策定</li> <li>2. 経営資源の準備</li> <li>3. 代表者による全体の評価と見直し・指示</li> <li>4. 環境経営レポートの承認</li> <li>5. 環境経営目標及び環境経営計画の承認</li> </ol>			
代表取締役社長 岡村 圭一郎				
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EA21システムの確立、実施推進、維持管理</li> <li>2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施</li> <li>3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定</li> <li>4. 環境経営レポートの作成</li> <li>5. EA21に関する実績把握と報告</li> <li>6. EA21環境経営マニュアルの作成</li> </ol>			
管理本部 本部長 岩岡 伸一				
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EA21責任者の補佐業務</li> <li>2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況の確認</li> <li>3. 教育・訓練計画の策定、実施</li> <li>4. 環境文書及び記録の作成、管理</li> <li>5. その他、EA21に関する業務</li> <li>6. 環境経営レポートの発行</li> </ol>			
総務課 課長 上道 朱美ほか				
EA21委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営目標及び環境経営計画の結果確認</li> <li>2. EA21に関する審議</li> </ol>			
代表者 岡村 圭一郎 EA21員会メンバー				
本社・工場		営業所		
製造本部		管理本部	技術開発本部	営業本部
伸銅	アルミ			東京営業所
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営活動の実施</li> <li>2. 問題点等の是正処置</li> </ol>				

【環境経営目標及びその実績：本社工場】

項目	年度	基準値	2022年度 (2022年5月～2023年4月)		2023年度 目標	2024年度 目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	3,456	3,387	3,268	3,387	3,352
	基準年比	2019年	98.0%	94.6%	98.0%	97.0%
	購入量 (kWh)	5,514,652	5,404,359	5,010,281	5,404,359	5,349,212
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	54.2	48.24	29.20	43.36	43.36
	基準年比	2019年	89.0%	53.9%	80.0%	80.0%
	ガソリン購入量 (L)	952	501	502	762	762
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub> /t	1,931.18	1,892.75	1,888.03	1,911.87	1,892.56
	基準年比	2019年	99.0%	97.8%	99.0%	98.0%
	購入量 (kg)	456,527	451,962	428,238	451,962	447,396
一般廃棄物の削減	kg/t	20.04	19.64	23.64	19.64	19.64
	基準年比	2019年	98.0%	118.0%	98.0%	98.0%
	廃棄量 (kg)	10,493	10,283	11,505	10,283	10,283
産業廃棄物の削減	kg/t	388.0	380.2	268.2	380.2	380.2
	基準年比	2019年	98.0%	69.1%	98.0%	98.0%
	廃棄量 (kg)	182,359	178,712	122,090	178,712	178,712
廃棄物全体の削減	kg/t	408.04	399.84	291.84	399.9	399.9
	基準年比	2019年	98.0%	71.5%	98.0%	98.0%
	廃棄量 (kg)	192,852	188,995	133,595	188,995	188,995
水道水の削減	m <sup>3</sup> /t	8.75	8.31	8.25	8.31	8.31
	基準年比	2019年	95.0%	94.3%	95.0%	95.0%
	購入量 (m <sup>3</sup> )	4,415	4,194	4,020	4,194	4,194
化学物質の購入量把握	kg/t	67.8	65.7	53.9	62.4	62.4
	基準年比	2019年	97.0%	79.6%	92.0%	92.0%
	購入量 (kg)	34,530	33,494	25,865	31,768	31,768

※ Kg-CO<sub>2</sub>/t 等の表記は生産量トンあたりの原単位を示す。

※ 関西電力 2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

【環境経営目標及びその実績：東京営業所】

項目	年度	基準値	2022年度 (2022年5月～2023年4月)		2023年度 目標	2024年度 目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	2,031.0	1,625.0	1,544.0	1,625.0	1,625.0
	基準年比	2019年	80.0%	76.0%	80.0%	80.0%
	購入量 (kWh)	6,386	5,109	4,856	5,109	5,109
一般廃棄物の削減	kg	165.90	162.58	113.80	162.58	162.58
	基準年比	2019年	98.0%	68.6%	98.0%	98.0%
資源ごみの削減	kg	266.90	261.60	95.9	261.60	261.60
	基準年比	2019年	98.0%	35.9%	98.0%	98.0%
廃棄物全体の削減	kg	432.80	424.18	209.70	424.18	424.18
	基準年比	2019年	98.0%	48.5%	98.0%	98.0%
水道水の削減（注1）	m <sup>3</sup>	124.00	121.52	158.00		
	基準年比	2021年	98.0%	127.4%		
製品・サービスへの環境配慮 （注2）	売上実績 (kg)	カドミル販売数量 505	カドミル 540	カドミル 562.0	カドミル 540	カドミル 540
	基準年	2020年	106.9%	111.3%	グリーンアルミの 引き合い数把握	グリーンアルミの 引き合い数把握

（注1） ・ 2021年4月よりグループ企業が同じビルに入居し、社員数の増加に伴って水使用量も増加した。

・ 2023年6月に東京営業所を移転し、水道の使用がなくなったため2023年度以降は把握しない。

（注2） ・ カドミレス材（カドミウム75ppm以下の黄銅棒）

・ グリーンアルミ（CO<sub>2</sub>排出量の少ない自然エネルギーを使用して精製されたアルミ）

※ 関西電力 2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

【環境経営目標及びその実績：大阪営業所】

項目	年度	基準値	2022年度 (2022年5月～2023年4月)		2023年度 目標	2024年度 目標
		基準年度	目標	実績		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	1,184.0	876.0	729.0	876.0	876.0
	基準年比	2019年	74.0%	61.6%	74.0%	74.0%
	購入量 (kWh)	3,724	2,756	2,289	2,756	2,756
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	5213.1	3909.8	2582.0	3909.8	3909.8
	基準年比	2019年	75.0%	49.5%	75.0%	75.0%
	ガソリン購入量 (L)	2,246	1,685	1,112	1,685	1,685
一般廃棄物の削減	kg	48.00	47.04	22.26	47.04	47.04
	基準年比	2019年	98.0%	46.4%	98.0%	98.0%
資源ごみの削減	kg	170.35	166.90	32.59	166.90	166.90
	基準年比	2019年	98.0%	19.1%	98.0%	98.0%
廃棄物全体の削減	kg	218.35	213.94	54.85		
	基準年比	2019年	98.0%	25.1%		
製品・サービスへの環境配慮 (注1)	売上実績 (kg)	カドミル販売数量 505	カドミル 540	カドミル 562.0	カドミル 540	カドミル 540
	基準年	2020年	106.9%	111.3%	グリーンアルミの 引き合い数把握	グリーンアルミの 引き合い数把握

(注1) ・カドミレス材 (カドミウム75ppm以下の黄銅棒)

・グリーンアルミ (CO<sub>2</sub>排出量の少ない自然エネルギーを使用して精製されたアルミ)

※ 関西電力 2019年度調整後排出係数0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用



## 【基準年度と今年度実績：全社合計分】

		基準年度	今年度実績
電力による二酸化炭素削減	電力購入量	5,524,762	5,017,526
	(kWh)		90.8%
自動車燃料による二酸化炭素削減	ガソリン購入量	3198.0	1614.0
	(L)		50.5%
	軽油購入量	9,647.0	5,009.0
	(L)		51.9%
都市ガスによる二酸化炭素削減	都市ガス購入量	456,527.0	428,238.0
	(kg-CO2)		93.8%
一般廃棄物の削減	廃棄物量	10,706.9	11,641.1
	(kg)		108.7%
産業廃棄物の削減	廃棄物量	182,359.0	122,090.0
	(kg)		67.0%
廃棄物全体の削減	廃棄物量	193,503.2	133,731.1
	(kg)		69.1%
水道水の削減	購入量	4,539.00	4,178.0
	(m <sup>3</sup> )		92.0%
化学物質の購入量把握	購入量	34,530.0	25,865.0
	(kg)		74.9%
製品・サービスへの環境配慮	カーボンフットプリント	505.0	562.0
	(kg)		111.3%

※本社は生産量あたりの目標で活動していたため、ここでは全社購入量のみ記載。

※各事業所ごとに目標とする削減率は異なる。

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

< ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった >



①電力による削減は目標達成！…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	■上方修正    □下方修正    □基準見直し	
・ホイスト故障低減（年間目標8件以下）	×	継続	伸銅は鋳造失敗回数による電力使用が増加した。データロガーを使用し、各機械の待機電力の削減活動などを行い、何とか目標を達成することが出来た。来期も製品品質を落とすことなく電力削減を目指す。  目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 94.6%
・伸銅、アルミの歩留向上	△	継続	
・データロガーを使用した温度計測による改善	○	継続	
・空調機フィルターの定期的な清掃	○	継続	
・TPM活動による故障時間の低減	△	継続	
・金型製作失敗の低減による歩留の向上	△	継続	
・鋳造失敗回数の低減による歩留の向上	×	強化	



データロガーによる計測



データロガーで計測したデータの活用



②自動車燃料による削減は目標達成！…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	■上方修正    □下方修正    □基準見直し	
・フォークリフトの運用時間の管理（伸銅）	○	継続	2t車の使用回数が減ったことで軽油の使用量が減っている。コロナ禍での行動規制が緩和されたこともあり、今後は営業車の使用が更に増加する見込み。常にエコ運転を心掛け、CO2排出量を減らしていく。  目標：基準年度比 89.0% 実績：基準年度比 53.9%
・フォークリフトの運用時間の管理（アルミ）	○	継続	
・車両の走行距離管理及び効率の良い運行計画	×	継続	
・軽トラックの日常点検の実施	○	継続	



軽トラック日常点検の様子

車種 シエンタ      登録ナンバー 6113

No	確認者	確認時間	アルコール検知方法				検出結果	指示事項 -その他必要事項	走行記録	
			検知器の使用有無	対面	対流不可	対流可			出発時	入庫時
11	川本	9:45	○	無	○	有・検 (0)		11本	23443	23450
11	川本	9:50	○	無	○	有・検 (0)		11本	23450	23451
止上	止上	12:06	○	無	○	有・検 (0)		上道	23456	23457
11	川本	9:40	○	無	○	有・検 (0)		11本	23457	23459
11	川本	13:55	○	無	○	有・検 (0)		11本	23467	23468
11	川本	9:50	○	無	○	有・検 (0)		11本	23468	23469

走行距離数把握の様子

## 【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜ ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった＞



③ガス燃料による削減は達成！…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○		■上方修正    □下方修正    □基準見直し
・生産性の向上（伸銅）	○	継続	何とか目標達成は出来たものの、来期は製品の再鑄造や再押出によるエネルギーロスを無くすよう務めていく。 目標：基準年度比 99.0% 実績：基準年度比 97.8%
・歩留の向上（アルミ）	△	強化	
・アルミ生地仕上げ不良率10%以下への挑戦	○	継続	
・鑄造失敗回数の低減による歩留の向上	×	強化	



転換後の都市ガス機器の様子



④一般廃棄物の削減は、目標未達成！…×

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×		□上方修正    □下方修正    ■変更なし
・分別管理の徹底	○	継続	分別管理の徹底により、産廃が減り一般廃棄物の量が増加した。全体の廃棄物量が減少してきたので、来期はリサイクル可能な廃棄物量を増やせるよう検討する。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 118.0%
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	強化	
・簡易梱包の依頼	×	継続	
・5S活動の継続	○	継続	



廃棄物分別の様子①



廃棄物分別の様子②



古紙回収の様子

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

＜ ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった＞



◎産業廃棄物による削減は目標達成！…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	口上方修正      口下方修正      ■基準見直し	
・分別管理の徹底	○	継続	分別の徹底により、廃棄物の量もコストも抑えられているが、来期は工場内に残されている使用不可の物を処分し、一掃したい。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 69.1%
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	強化	
・梱包材のリサイクル化の検討	×	継続	
・5S活動の継続	○	継続	



分別状況チェックの様子



◎水道水の削減は達成！…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	口上方修正      ■下方修正      口基準見直し	
・日常的な節水の励行	○	継続	老朽化した配管などからの水漏れはあるものの、何とか目標は達成出来た。来期も引き続き水漏れの早期発見と節水に取り組んでいく。 目標：基準年度比 95.0% 実績：基準年度比 94.3%
・クーリングタワー設備の管理徹底	○	継続	
・酸洗機の水量管理の徹底	○	継続	
・老朽化による水漏れの点検	△	継続	



お天気がいいのに地面が濡れている！

水漏れ箇所の地面の様子



水漏れ箇所修理の様子

## 【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

本社

◁ ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった▷



⑦化学薬品購入量の削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	□上方修正      □下方修正      ■基準見直し	
・詰めダイス率の向上	○	継続	詰めダイス率の向上など、継続的な活動により、目標達成することが出来た。来期も効率の良い薬品使用を心がける。
・苛性ソーダの再利用促進	○	継続	
・酸洗い機の硫酸使用量削減（伸銅）	△	継続	目標：基準年度比 97.0% 実績：基準年度比 79.6%
・水処理施設の適正管理	△	継続	

化学物質 令和元年5月～令和2年4月（今年度）

62.55種類	換算値	酸化第二鉄換算値	小計点検品 計 1000g	N-5項目 換算値	ホルムアルデヒド 換算値	計換算値	日量定率 換算値	日量定率 換算値	
5月	0	0	0	1,000	1,000	25	25	¥109,450	
6月	0	0	0	2,000	2,000	50	50	¥218,900	
7月	30	840	2,130	¥132,541	1,000	1,000	25	25	¥109,450
8月	0	0	0	1,000	1,000	25	25	¥109,450	
9月	0	0	0	1,000	1,000	25	25	¥109,450	
10月	30	840	0	¥31,812	2,000	2,000	50	50	¥218,900
11月	0	0	0	1,000	1,000	25	25	¥109,450	
12月	0	0	0	1,000	1,000	25	25	¥109,450	
1月	30	840	0	¥31,812	2,000	2,000	50	50	¥218,900
2月	0	0	0	1,000	1,000	0	0	¥109,200	
3月	0	0	0	1,000	1,000	25	25	¥109,450	
4月	80	1,680	0	¥51,624	2,000	2,000	50	50	¥218,900
合計	150	4,200	2,130	¥258,809	18,000	18,000	375	375	¥1,742,950

購入量把握の様子



水処理施設の様子



2カ月に1回開催しているエコアクション委員会の様子（東京と大阪はテレビ会議システムで出席）

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

東京

< ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった >

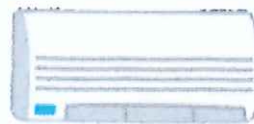


①電力による削減は、目標達成…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○		□上方修正    □下方修正    ■変更なし
・未使用箇所の電灯チェック	○	継続	新型コロナウイルス感染対策も少しずつ緩み、換気による使用量増加が抑えられた。来期は営業所移転による新たな使用状況の把握が必要。 目標：基準年度比 80.0% 実績：基準年度比 76.0%
・エアコンのこまめな温度管理	○	継続	
・エアコンフィルターの定期清掃	○	継続	



エアコンの設定温度管理



エアコン温度のこまめな調整



②廃棄物の削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎		□上方修正    □下方修正    ■基準見直し
・分別管理の徹底	○	継続	来期は営業所の移転に伴い、廃棄物が増加する見込み。移転後の新たな適正廃棄量を把握し、改善に務める。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 48.5%
・分別状況の定期チェック	○	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	強化	



【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

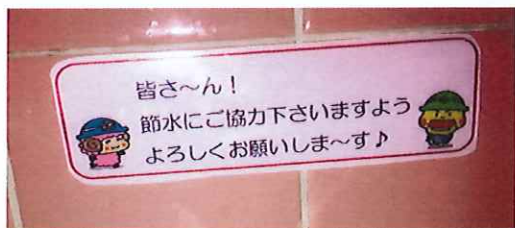
東京

< ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった >



③水道水の削減は、目標未達成…×

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	×		□上方修正      □下方修正      ■変更なし
・トイレが故障していないかを定期チェック	○	終了	2021年度よりグループ企業が同じビルに入居し、社員数が増加したことで水道使用量も増えた。移転先は室内に水道設備がなくなるため、水使用量に関する活動は終了する。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 127.4%
・節水の呼びかけ	○	終了	
・適正使用の継続	○	終了	



節水の呼びかけ



④製品・サービスへの環境配慮は、目標達成…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○		□上方修正      □下方修正      ■変更なし
・環境製品の積極的な販売	×	継続	積極的に環境製品のアピールを続けるとともに、来期はグリーンアルミの購入を予定しているため、顧客の動向を掴み、引き合いを増やしていきたい。 目標：加ミ販売量 505.0kg/年 実績：加ミ販売量 562.0kg/年
・環境製品への切替促進	△	継続	
・環境製品の積極的な見積り	○	継続	
・グリーンアルミの引き合い数を把握	×	強化	



黄銅異形中空棒 ミトーセル®

カドミウム75ppm以下黄銅棒の化学成分

合金番号	名称	化学成分(%)						
		Cu	Pb	Fe	Sb	Al	Zn	Cd
C2604(Cd)	C2604	57.0~61.0	1.8~3.7	0.50以下	Fe+Sb 1.0以下	—	残部	75ppm以下
C3771(Cd)	C3771	57.0~61.0	1.0~2.5	—	Fe+Sb 1.0以下	—	残部	75ppm以下
KS-8C	KS-B	57.0~61.0	1.8~3.7	0.50以下	Fe+Sb 1.2以下	2.0以下	残部	75ppm以下
KS-HC	KS-H	56.0~60.0	—	2.5以下	Fe+Sb 1.2以下	2.0以下	残部	75ppm以下
KS-RC	KS-R	54.0~60.0	3.0以下	—	Mn+N+Fe+Sb 2.5以下	2.5以下	残部	75ppm以下

【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

大阪

< ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった>



①電力による削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○	□上方修正      ■下方修正      □基準見直し	
・残業時間削減の取組み	△	継続	新型コロナウイルスの影響で大阪営業所はサテライト化され、事務所の利用頻度が減少したことで目標達成した。  目標：基準年度比 74.0% 実績：基準年度比 61.5%
・エアコンフィルターの定期清掃	×	継続	
・祭日等の営業所閉鎖日（本社へ出勤）の設定	○	継続	



エアコンの設定温度管理



エアコンフィルターの定期清掃



②自動車燃料による削減は、目標達成…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎	□上方修正      □下方修正      ■変更なし	
・効率の良い運行計画の実施	○	継続	コロナ禍での行動規制が緩和されたこともあり、今後は営業車の使用が更に増加する見込み。常にエコ運転を心掛け、CO2排出量を減らしていく。  目標：基準年度比 75.0% 実績：基準年度比 49.5%
・走行距離数の把握	○	継続	
・営業車の走行設定をエコにする	○	継続	
・可能な限りWEB会議を行う	×	強化	





## 【環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組内容】

大阪

< ◎良く出来た      ○まあまあ出来た      △あまり出来なかった      ×全く出来なかった >



③廃棄物の削減は、目標達成！…◎

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	◎		□上方修正      □下方修正      ■変更なし
・ゴミ廃棄メモの管理	○	継続	大阪営業所はサテライト化され、営業所の利用頻度が減少したことで目標達成した。 目標：基準年度比 98.0% 実績：基準年度比 25.0%
・分別状況の定期チェック	△	継続	
・リサイクル品の分別強化	△	継続	



ゴミ箱を色分けして分別

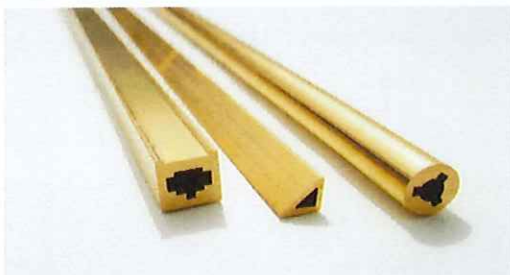


会議資料のペーパーレス化



④製品・サービスへの環境配慮は、目標達成…○

取組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
数値目標	○		□上方修正      □下方修正      ■変更なし
・環境製品の積極的な販売	×	継続	積極的に環境製品のアピールを続けるとともに、来期はグリーンアルミの購入を予定しているため、顧客の動向を掴み、引き合いを増やしていきたい。 目標：ｶﾞﾙﾌﾞﾙﾐ販売量 505.0kg/年 実績：ｶﾞﾙﾌﾞﾙﾐ販売量 562.0kg/年
・環境製品への切替促進	△	継続	
・環境製品の積極的な見積り	○	継続	
・グリーンアルミの引き合い数を把握	×	強化	



黄銅異形中空棒 ミトーセル®

カドミウム75ppm以下黄銅棒の化学成分

合番号	名称	化学成分(%)						
		Cu	Pb	Fe	Sn	Al	Zn	Cd
C3004(Cu)	C3004	57.0~61.0	1.8~3.7	0.50以下	Fe+Sn 1.0以下	—	残部	75ppm以下
C3771(Cu)	C3771	57.0~61.0	1.0~2.5	—	Fe+Sn 1.0以下	—	残部	75ppm以下
KS-BC	KS-B	57.0~61.0	1.8~3.7	0.50以下	Fe+Sn 1.2以下	2.0以下	残部	75ppm以下
KS-HC	KS-H	56.0~60.0	—	2.5以下	Fe+Sn 1.2以下	2.0以下	残部	75ppm以下
KS-RC	KS-R	54.0~60.0	3.0以下	—	Mn+Ni+Fe+Sn 2.5以下	2.5以下	残部	75ppm以下

## 【環境活動や地域社会への活動紹介】



昨年、SDGs宣言を行いました。  
 亀岡市のSDGsパートナー企業にも認定して  
 頂き、少しずつ活動の幅を広げています。

また、中央事務局より長年に渡る環境経営への  
 取り組みに対して、感謝状を頂戴しました。  
 社員一同、この喜びを胸に、これからも  
 頑張っまいります！



亀岡市にある関西盲導犬協会への寄付金を募っ  
 ています。また、今年度は初めてクラウドファン  
 ディングを利用し、リタイア犬の医療費を寄  
 付しました。

以前「盲導犬クイールの一生」という映画では  
 亀岡市が撮影場所になりました。  
 亀岡にある企業として、これからも盲導犬育成  
 のお手伝いできればと思います。



SDGsの一環で、亀岡市にある「社会福祉  
 法人青葉学園」様に寄付を行いました。  
 様々な理由でここに集う子供たちが、すく  
 すく成長されることを願っています。



ペットボトルのキャップを集めています。  
 この活動を通して世界の子供達を病気から守る  
 お手伝いできればと思います。  
 自動販売機の横に専用のゴミ箱を置き、キャ  
 ップだけが入るよう工夫しました。  
 飲料メーカーさんにもご協力頂いています。



# 開明伸銅 株式会社

## SDGs宣言書

SDGsが掲げる目標達成に向け、下記のとおり宣言いたします

SDGsとは、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。「誰一人取り残されない」世界の実現にむけ、2030年までに達成すべき17の目標と、169のターゲットが定められています。

### 取り組みテーマ

### 具体的取り組み

### SDGs目標

#### 地球環境に配慮した モノづくり

非鉄金属製造会社として、「環境経営方針」を遵守し、地球環境に配慮したモノづくりを行ってまいります。

- 【主な取組】
- ・人や環境に配慮した黄銅異形中空棒「ミトーセル」の開発
  - ・エコアクション2.1の認証継続
  - ・CO<sub>2</sub>排出量の把握と削減に向けた具体的な取組の実施



#### 全ての従業員が 輝ける会社づくり

ワークライフバランスの実現と、全ての従業員が能力を十分に発揮できるような職場づくりを行ってまいります。

- 【主な取組】
- ・階層別教育の継続実施
  - ・男性従業員の育児休暇取得の積極的な推奨
  - ・「クレド」の配布や会議を通じた従業員との経営理念の共有
  - ・女性活躍推進の取組み



#### 地域社会との 共存共栄

私たちは、京都に生まれ、京都で育った企業として、地域社会との共存共栄のために、さまざまな活動を行ってまいります。

- 【主な取組】
- ・地元の学校からの社会見学や就業体験の受け入れ
  - ・各種関係団体への寄付
  - ・地元人材の雇用や近隣企業の積極的な利用



## 【環境関連法規等の遵守状況と違反、指摘の有無】

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（油水廃油、廃アルカリ汚泥、金属屑他） （廃棄物の削減、適正処理、定められた業者への委託、廃棄物管理表の交付及び報告等） 特別産業廃棄物（多量排出者削減計画の提出、電子マニフェストの利用）	○
家電リサイクル法	ブラウン管、液晶、プラズマ式テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機、ユニット型エアコン （特定家庭用機器の長期間の使用による廃棄物抑制、廃棄時の適正処理）	○
小型家電リサイクル法	使用済小型家電等（電話、ファックス、携帯電話、映像用機械器具、プリンターほか） （分別廃棄の徹底、適正事業者への引き渡し）	○
自動車リサイクル法	営業車、運送用2tトラック （廃棄時の適正業者への引き渡し、リサイクル料金の支払い）	○
省エネ法	電気、灯油、ガソリン、LPG等 （エネルギー使用量の削減、使用状況等の報告）	○
騒音・振動規制法	切断機、コンプレッサー、ブレーキプレス、シャーリング （環境測定実施と記録保管、法規制基準の遵守等）	○
消防法	作動油、灯油、塗料の貯蔵 （法規制基準の遵守、点検と記録の保管、危険物取扱主任者の選任等）	○
下水道法	重金属処理 （法規制基準の遵守、点検と記録の保管等）	○
大気汚染防止法	金属溶解炉 （環境測定実施と記録保管、法規制基準の遵守等）	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷蔵庫、冷凍機 （簡易点検の実施、定められた回収業者への委託等）	○
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ、硫酸の貯蔵 （貯蔵場所の表示、容器への表示、作業員への取扱注意喚起等）	○
工場立地法	特定工場の届出 （適正な届出）	○
労働安全衛生法	作業主任者、衛生管理者、産業医の配置 （各有資格者の選任、健康診断・X線検査の実施、化学物質リスクアセスメントの実施、教育等）	○
公害防止組織法	特定工場の届出 （公害防止統括者、公害防止管理者の選任、届出等）	○
化学物質管理法 （PRTR制度）	第二塩化鉄液 （適正な届出）	○

環境関連法規制の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、近隣からの訴訟等は過去3年間ありません。

## 【代表者による全体の評価と見直し・指示】

### 【変更の必要性の有無・指示事項】

#### ①環境経営方針 変更の必要性：☑あり ☐なし

- ・鉛レスについては欧州委員会では延長措置がされず放置されている状況であり、現状の取り組みを延長していくこととする。またSDGs対応についても現状維持とし、次のテーマに取り組んでいく。
- ・次年度は高騰する燃料に加えて、2030年CO2削減目標の達成に向け全社的に燃料費削減をテーマとしたい。
- ・次に低炭素社会実現に向けて現状把握をスタートさせ、2050年に向けての基準年と考えており、まずは現状把握を進めていきたい。

#### ②実施体制 変更の必要性：☐あり ☑なし

#### ③環境活動目標、活動計画 変更の必要性：☑あり ☐なし

製品・サービスへの環境配慮に対して管理項目の必要の変更があると考えています。

代表的なものはグリーンアルミであり、2023年度7月よりグリーンアルミの購入をスタートし

顧客への提案をスタートします。よって、グリーンアルミに関する提案数を目標値に加えて頂きたい。

### 【代表者による総括】

- ・今年度はアルミ歩留、伸銅品製品率が向上し、製造分野においてよい数値となっています。生産性を向上する行為は結果的にエコ活動と同意義になりますので、例年通り前向きに進めて下さい。
- ・前年度に全工場のLED化を進めましたが、全工場において徹底されているかの最終検証が必要だと感じますので宜しくお願いします。
- ・昨年はカーボンニュートラルに対しては様子見となっていましたが、次年度より現状把握からスタートし、時間をかけて着実に進んでいきましょう。
- ・最後にグリーンアルミの管理方法についても社内で共通認識を進めて下さい。現時点ではグリーンアルミへの理解は低いと感じており、まずは管理職レベルから理解を深めましょう。

開明伸銅株式会社

代表取締役 岡村 圭一郎